

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公表番号】特表2011-503218(P2011-503218A)

【公表日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-534399(P2010-534399)

【国際特許分類】

C 0 7 C 231/02 (2006.01)

C 0 7 C 233/47 (2006.01)

C 0 7 C 233/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

C 0 7 F 1/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 231/02

C 0 7 C 233/47

C 0 7 C 233/49

A 6 1 K 8/44

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 19/10

C 0 7 F 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日 (2011.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

成分 a) として、 C_{8-18} アシル基を有するココイルグリシン酸ナトリウムを、組成物全量をベースとして、21.0～28.0重量%、好ましくは23.0～27.0重量%の量で含み、 C_8 及び C_{10} アシル基を含有する式 (I) のアシルグリシネートの割合は合計して5.0重量%より多く、好ましくは10.0～14.0重量%であり、 C_{12} アシル基を含有する式 (I) のアシルグリシネートの割合は50.0～72.0重量%であり、 C_{18} アシル基を含有する式 (I) のアシルグリシネートの割合は2.0重量%未満、好ましくは1.8重量%未満、特に好ましくは1.0重量%未満であることを特徴とする請求項 7～9 の何れか一項に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

本発明のさらに好ましい実施形態において、本発明による組成物は、成分 a) として、 R^1 が 12 個の炭素原子を有するアシル基 R^1 でありそして Q^+ が Li^+ 、 Na^+ 及び K^+ から選択されるカチオンであり、好ましくは Na^+ 及び K^+ から選択されるカチオンで

あり、特に好ましくは Na^+ である 1 又は 2 種以上の式 (I) のアシルグリシネート、及び R^1 が 14 個の炭素原子を有するアシル基 R^1 でありそして Q^+ が Li^+ 、 Na^+ 及び K^+ から選択されるカチオンであり、好ましくは Na^+ 及び K^+ から選択されるカチオンであり、特に好ましくは Na^+ である追加的な 1 又は 2 種以上の式 (I) のアシルグリシネートを、組成物全量をベースとして一緒にして 21.0 ~ 28.0 重量%、好ましくは 23.0 ~ 27.0 重量%の量で含む。